



通信員コメント欄からの声を集めてみました。

## 希望記事

・快適な睡眠や眠れない怖さ、不規則な睡眠の危険等について取り上げていただきたいと思います

『睡眠』をテーマに健康を考えるとという視点は面白いと思います。良い執筆者を見つけないことが前提ながら、来年度の「Health」でシリーズ連載とするよう、検討します。

・家族の形（子供が巣立った後の夫婦の形）例えば子供との同居を望むのか、二人だけの生活を満喫するのか また二人の場合、片方が病気等になった場合にどうするのか等……家族の形について、現在多くの方がどのように選択し、望んでいるのかを特集してほしいです。

「望ましい家族の形」の多様化が進んでいるように思われます。「Family」において、家族の形についての連載ができればと考えています。こちらも執筆者次第ですね。

・満期前に退職し起業した先達の紹介記事や社会起業家の記事は、退職後のことをいろいろと考え始めた私としては参考になったし、何よりマインドの持ち方、あり方に刺激を受けた。今後もこのような記事をお願いしたい。

定年退職後の仕事のあり方については多くの方が関心をもたれているかと思いますが。今号の小田原さんの「Career」も参考になったのではないのでしょうか。「Career」ではこれからも随時こういった退職後を見据えた記事を取り上げてゆきたいと思います。

・長年、武道に取り組んでいる方の紹介

地方公務員で武道に取り組まれている方は少なくないと思います。「Hobby & Sports」にそのご経験を執筆いただける方がいらっしやいましたら、ぜひご連絡をお願いいたします。（自薦他薦を問いません）

・退職を期に東南アジアやカナダ等、海外へ移住するケースがあると聞いたことがあります。そのような人達について、暮らしてぶりや移住手続きなど特集してはいかがでしょう？海外がテーマですと夢もありますし、若い人達も関心を持つと思います。

・退職後、島へ移住した方の話とか聞きたいです 先日 石垣島へ旅行に行き、どっぷりはまっています。南国の島へ移住した方とかいませんか？

・海外生活のこと。長期は無理としても二〜三月の短期海外生活方法。

海外移住もしくは国内移住についての記事希望は毎回ございます。前回のバンコク取材記事（二〇〇七年二月号掲載）から三年近く経ちますので、そろそろ再度特集を組むべき時期なのかもしれません。取材予算との兼ね合いもあり今年度中の（二〇一〇年二月号まで）掲載は難しいですが、いつかは取り上げたいテーマであります。

・家を建てる時や買うとき、どんな税金や諸費用がかかるか、税金の減免や控除、補助金等について

今号の飯村先生の記事で一部ふれています。また、今年度「くらしを豊かにするハンドブック」シリーズの中で「マイホーム編（仮題）」を発行する予定です。

・手軽にできる筋力トレーニング等、運動に関する連載記事があればよいと思います。同様に、毎号その時期の旬の食材を使った料理レシピを掲載してはどうでしょうか。

今号から連載開始した福田先生の「腹やせウォーキング」の記事はいかがでしょうか。是非ともご参考になさってはと思います。また、ご指摘がありました「料理レシピ」掲載につきましては当面予定しておりませんが、コラムのテーマの候補として検討したいと思います。

・社会人大学や大学院、資格取得についての記事をお願いしたいです。  
やっぱり向上したいです。

「Career」のコーナーはまさにご指摘のテーマについて経験者のご寄稿を紹介するものですが、実はなかなかご執筆頂ける方が見つからず、悩んでいます。ご執筆いただける方がいらつしやいましたら、ぜひご連絡をお願いいたします。（自薦他薦を問いません）

・夏になると発生しやすい病気（虫さされ、水虫、熱中症など）を取り上げて、その対処法などを出してもらおうと面白いですがね。（春夏秋冬に）

「虫さされ」は確かに身近で面白そうですね。「季節毎の身近な病気の紹介」という切り口を含め、検討したいと思います。

## その他ご意見

・「ふるさとの香り」テーマ、内容も美しい。殺伐とした、この時代、よき人生を送られてきたものだと、楽しく読ませていただきました。再度登場願いたいくらいです。

ありがとうございます。

・今回の「釣った魚にエサをやらない夫」の記事は大変参考になりました。普段の何気ない行動が、夫婦間のトラブルの素となっているのですね。

・サクサク実践夫婦力アップ！①は、男性としてドキツとしながら読ませていただきました。次号をふまえ、退職後の夫婦の過ごし方を今から妻と話し合っていかなければと思っています。

・「釣った魚にエサをやらない夫」とても楽しく読めました。夫婦の絆は、とかく身近なだけに忘れがちになりやすいと感じました。次回の妻向けも楽しみです。

・「釣った魚にエサを…」は非常にためになりました。自分はどうなのかと考えてしまいました。なかなか男女の間はやっぱりむづかしいものですね。

・「釣った魚にエサをやらない夫」の記事は身につまされる思いがしました。気をつけようと思いました。

・釣った魚…の記事は、夫婦のあり方、問題点を客観的に書いていて、読者（特に男性読者）の気付きを誘う記事で良かった。

小林先生の記事に対するご意見をまとめて紹介いたしました。総じて非常に参考になったという高い評価です。私自身も「そういうことだったのか！」と目からうろこが落ちる思いで原稿を読んでもらったので、通信員の皆さんの反応には「やはりみんな同じ思いなんだ」と得心しております。今号の記事も非常に示唆に富んでいて、特に既婚男性の方は「これはぜひ妻に読ませたい！」とお思いになることかと思われまます。

・「目からウロコの大人のための食育」を読み、今まで自分が完全に勘違いと言いか認識違いをしていたことに気付きました。それを確認するために、三回ほど繰り返し熟読しました。まさに目からウロコでした。体質改善に取り組みそうです。ありがとうございます。

掲載した記事が多少なりとも読者の方々に「新しい知見」をもたらすことができれば、そしてそれが実生活に役立つことになれば、編集者冥利に尽きることであります。

・「こころが病むとき、つぶれるとき」は、一般的にとても難しいと思います。主な精神疾患について、それぞれの症状や対処法などをたくさん知りました。やはり人間関係が軸であることに強く再認識したところです。常に「訊く」、「聞く」、「聴く」を心がけて、身につくように過「こころ」と思います。(他同様意見一名)

・「こころの健康」関連 同僚でこころの病気の方がいます(かなり程度が重いのか、退院して三年になりますが、現在も仕事は全くできない状態)。私は同職して三年目、彼にどのように接するべきか、どのように指導していくべきか、全くわかりません(私は同僚であって上司ではない)。思わずパワハラ発言してしまつて、あとで自己嫌悪に陥ることも暫し。なお、周りに与えるストレスがすごいです(病気の程度にもよるのですが)。最近では「(病気の職員よりも)我が身の心の健康が第一」と思うように。素人で、通常業務を抱えている職員にとっては難しい問題です。

吉川先生の三回連載はいかがでしたでしょうか。やや難解な部分があったことは当編集部も認識していますが、通信員アンケートの評価は高いものでした。職場のメンタルヘルスに対する皆さんの関心が高いかかわかります。

・本誌の読者層の分析をお願いします。対象が地方公務員だとは思いますが、全体で何人で、年齢層はどうか、部署はどうか、まず分かりません。その上で、どどういうリクエストをすべきか、考えさせてもらいたいと思います。

本誌は全国の都道府県・市町村・東京特別区の福利厚生担当課、各都道府県市町村共済組合、道府県警察本部、各都道府県の公立学校共済組

合、および地方自治関連団体に配布しております。なお発行部数は毎号一万二〇〇〇部です。特定の個人宛にお送りしていない(一部を除く)ので、読者の年齢層や人数などは把握していない(できない)のが実情です。ご理解のほどよろしくお願ひします。

・「なるようになるさ、楽力を尽くせ」がおもしろかった。このような、普通ななかでできない取り組みをしている人の紹介を今後してほしいです。なにか、人生に対するパワーが伝わってきて、読んでるほうもやる気になります。

・本当にやりたかつた事を実現していくバイタリティには尊敬しますし、自分もそうなりたいと思いますし、そうなるように行動します。役人が役に立つ人になれるよう頑張ろうと思いました。

ありがとうございます。読者の皆さんに元氣・活力をもたらすような記事をこれからも紹介してゆきたいと思います。

・佐伯美香さんの記事、テレビのバレー中継とちよど重なり、興味深く読みました。ただ前半、会話をそのまま活字にしたような言葉の重複があつたりして、すこし冗長な感じがしてしまいました。耳で聞く言葉と目で読む言葉は違います。インタビュ―時の空気を生かしながら、スムーズに読める活字に変換するのは編集者の腕の見せ所ではないでしょうか。

貴重なご指摘を頂き、ありがとうございます。インタビュ―記事全体を見渡して再構成するという作業について、今一度十分かどうかを編集者として見直してゆきたいと思ひます。

